

生活空間の[ホットスポット]対応マニュアル

鴻巣市

鴻巣市がこれまでに測定した一般環境における空間放射線量は、毎時 0.053～0.113 μ Sv の範囲にあり、日常生活に支障のないレベルです。

しかし、雨どいや排水口付近、樹木の根元など付近より放射線量の高い場所があることがわかってきました。これまでに市内で確認された周辺より放射線量の高い箇所は、いずれも局所的なものであり、地表面で比較的高い放射線量を示すことがあっても、そこから50cm～1m離れた地点では、周辺の放射線量とほぼ同じレベルになることから、日常生活の支障になるものではありません。

ここでは、住宅敷地内等で特に高い放射線量が測定された場合の対応策をご紹介しますので、参考にしてください。

1 ホットスポットになりやすい場所は

地表面や屋根の上に堆積した放射性物質が、降雨時によって、狭い範囲に集まるような場所です。(ホットスポットを防ぐためには、日頃からの清掃が大切です。)

ホットスポットの例：落ち葉や土ぼこりが溜まる場所、樹木の根元、雨どいや排水口、集水マスの付近

2 局所的に放射線量の高い箇所の目安は

鴻巣市では、地上5cmの高さで毎時 0.23 μ Sv を超える場合としております。

文部科学省の基準では、地上1mの高さで付近の放射線量より毎時 1 μ Sv 以上高い場合、埼玉県基準では、地上 1 cmの高さで毎時 1 μ Sv 以上としております。

※ 地表面で高い放射線量が測定された場合は、周辺への影響を把握するため、そこから 50 cm～1m 程度離れた地点も測定します。

3 放射線を低減(除染)させる必要がある場合は

(1) 準備

マスク、ゴム手袋などを着用するとよいでしょう。

(2) 低減(除染)作業

① 落ち葉等の堆積物が原因の場合

落ち葉や土ぼこり等を清掃により除去します。



② コンクリート等の汚れが原因の場合

汚れが付着している箇所を、水をかけながら、ブラシやタワシで汚れを落とします。

③ 地表面が原因

表土を 2.5～5 cm 削って除去します。除去した土は、不透水性の袋に入れます。削り取った部分は、他の場所の土で覆ってください。

(3) 除去した土の保管

除去した土が入った袋よりひと回り大きな穴を掘り、その袋を入れ、10～30 cmの土で覆います。土による放射線の遮へい効果は、10 cmで 74%、20 cmで 90%、30 cmで 98%といわれております。

穴を掘ることができない場合は、容器(ふたのあるポリバケツ等)に入れ、敷地内のあまり人が立ち入らない場所で保管しましょう。



(4) 作業が終わったら

手洗いやうがいをし、靴等についた土をできるだけ落とすようにしましょう。

問い合わせ先

鴻巣市環境産業部 環境政策課

電話 048-541-1321